学科目標と授業時間数一覧

年　度	学　科　名	学年	担　任　名		
令和　5　年度	マンガ学科	1年	安岡　貴広		

学科概略	1コママンガ・4コママンガを初め劇画・コミックなど色々な表現方法を身に付け、漫画家・ｺﾐｯｸｸｲﾗｽﾄﾚｰﾀｰとして求められる技術や考察力・想像力を高める。
到達目標	マンガを描くために必要な用語の理解。 作画に必要な基本テクニックを身に付ける。 16枚程度のオリジナルストーリーマンガの制作。
目標へ対しての具体的取組	演習を通して、基本用語やテクニックを身に付ける。 1シーンの想像・起承転結の組み立てを理解しショートストーリーを考えさせる。

授　業　時　間　数　及　び　区　分

	科　目　名	担　当　教　員		授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法
				前期	後期				
1	マンガベーシック	安岡　貴広	常勤	36	60	96	必修	専門	実技
2	プロット＆ネーム	安岡　貴広	常勤	36	72	108	必修	専門	実習
3	デジタルコミック	安岡　貴広	常勤	11	49	60	必修	専門	実技
4	すらら	安岡　貴広	常勤	13	22	35	必修	専門	演習
5	マンガ演習	岩神　義宏	常勤	60	96	156	必修	専門	演習
6	背景図法1	窪内　章悟	非常勤	58	74	132	必修	専門	実習
7	デジタルイラスト基礎	関　和也	非常勤	54	50	104	必修	専門	実習
8	デジタルペイント基礎	大﨑　七未	非常勤	22	24	46	必修	専門	実習
9	ドローイング	川﨑　敬子	非常勤	20	26	46	必修	専門	実習
10	色彩演習	山﨑　道	非常勤	30	33	63	必修	専門	実習
11	ビジネスPC	吉井 多絵	非常勤	20	26	46	必修	一般	実習
12	一般常識	宮上　知史	非常勤	11	13	24	必修	一般	演習
13	修了制作	安岡　貴広	常勤				必修	専門	実習
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
	合計時間数			371	545	916			

許可なく複写複製することを禁じます　龍馬デザイン・ビューティ専門学校

令和 5年度 シラバス

授業科目	マンガベーシック	単位／時間	96h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	安岡 貴広
授業の目的・テーマ	マンガ制作の一連の流れの理解と技術の習得を目指す。		
授業の到達目標	・画材を適切に使用することができる ・マンガ表現のテクニックを自らの力で表現することができる ・ゼロからマンガ制作をすることができる		

授業の計画				
	1	画材・原稿の使い方・マンガ用語の解説	26	3Pマンガ制作
	2	画材・原稿の使い方・マンガ用語の解説	27	3Pマンガ制作
	3	付けペン・トーン・ベタ・ホワイトの練習	28	3Pマンガ制作
	4	付けペン・トーン・ベタ・ホワイトの練習	29	3Pマンガ制作
	5	付けペン・トーン・ベタ・ホワイトの練習	30	
	6	カケアミ・ナワアミの練習	31	
	7	カケアミ・ナワアミの練習	32	
	8	効果線・ベタフラ・ウニフラの練習	33	
	9	効果線・ベタフラ・ウニフラの練習	34	
	10	効果線・ベタフラ・ウニフラの練習	35	
	11	2Pトレース	36	
	12	2Pトレース	37	
	13	実技・知識テスト	38	
	14	雲形定規の練習	39	
	15	雲形定規の練習	40	
	16	16通りの表情の描き分け	41	
	17	16通りの表情の描き分け	42	
	18	動きを付けた感情表現	43	
	19	動きを付けた感情表現	44	
	20	基礎画力向上クロッキー（人体）	45	
	21	基礎画力向上クロッキー（人体）	46	
	22	基礎画力向上クロッキー（手）	47	
	23	基礎画力向上クロッキー（手）	48	
	24	3Pマンガ制作	49	
	25	3Pマンガ制作	50	

授業の方法	市販のテキストやオリジナル教材を使って授業を行う。
テキスト/参考文献	マンガのしくみ、オリジナルテキスト
評価の方法や基準	作画技術(50%)　実技・知識テスト（50%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	地元タウン情報誌で4コママンガを1年間掲載。
実務経験の活かし方	雑誌に掲載されるときは線が縮小されることを教える。 ※雑誌掲載時の線（縮小された線）と、生原稿の線（実寸線）の違いについて
履修上の注意事項	家庭でも知識の復習を行う

令和 5年度 シラバス

授業科目	プロット＆ネーム	単位／時間	108h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	安岡 貴広
授業の目的・テーマ	自身のアイディアをマンガに起こせるよう、 画力面を除いたマンガ制作における基礎部分の理解を深める。		
授業の到達目標	・自分のアイディアをネームに落とし込むことができる。 ・ストーリー作り、キャラクター作り、コマ割りのテクニック、構図演出の理解。 ・【前期】まんが甲子園に向けてネームを作ることができる。 ・授業課題とは別に投稿作として自主的に16P以上のネームを作成することができる。		

授業の計画				
	1	漫画家になる方法とマンガ業界について	26	カメラワークと絵コンテ作成
	2	マンガのジャンルと読者層	27	カメラワークと絵コンテ作成
	3	ﾏﾝｶﾞ制作手順、ﾌﾟﾛｯﾄとﾈｰﾑの概要	28	カメラワークと絵コンテ作成
	4	ﾏﾝｶﾞ制作手順、ﾌﾟﾛｯﾄとﾈｰﾑの概要	29	カメラワークと絵コンテ作成
	5	アイディア出しとキャラクター設定論	30	制約プロット＆ネーム
	6	ストーリーの組み立て方	31	制約プロット＆ネーム
	7	ストーリーの組み立て方	32	制約プロット＆ネーム
	8	コマ割り・構図・演出の説明・実技課題	33	修了制作
	9	コマ割り・構図・演出の説明・実技課題	34	修了制作
	10	コマ割り・構図・演出の説明・実技課題	35	修了制作
	11	カメラアングル解説・実技課題	36	修了制作
	12	カメラアングル解説・実技課題	37	
	13	２Ｐマンガのネーム制作①	38	
	14	２Ｐマンガのネーム制作②	39	
	15	5W1Hを用いたストーリーづくり	40	
	16	5W1Hを用いたストーリーづくり	41	
	17	ジャンル別ストーリーの型考察	42	
	18	ジャンル別ストーリーの型考察	43	
	19	シチュエーション別ネーム作成	44	
	20	シチュエーション別ネーム作成	45	
	21	読者に伝わるネームづくり	46	
	22	読者に伝わるネームづくり	47	
	23	実在人物のキャラクター化（ﾌﾟﾛﾌ制作）	48	
	24	実在人物のキャラクター化（ﾌﾟﾛﾌ制作）	49	
	25	マンガ賞の攻略法	50	

授業の方法	・テキストを使用して必要な知識を習得 ・簡単な漫画の作成を通して基礎を学ぶ
テキスト/参考文献	オリジナルテキスト、もっと魅せる・面白くする 魂に響く 漫画コマワリ教室、短編マンガの描き方、マンガキャラクター講座、ゼロからわかるマンガの作り方
評価の方法や基準	独創性（50%）　授業時間内の課題提出率（50%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○
実務経験	地元タウン情報誌で4コママンガを1年間掲載。
実務経験の活かし方	アイディアにつまった時の対処方法について教える。
履修上の注意事項	特になし

令和 5年度 シラバス

授業科目	デジタルコミック	単位／時間	69h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	安岡 貴広
授業の目的・テーマ	『CLIPSTUDIO PAINT EX』を用いてデジタルマンガを描く際の基礎的な操作技術と知識を習得する。		
授業の到達目標	デジタルでマンガの基礎的な作画、処理が出来る。		

授業の計画				
	1	授業の概要説明・デジタル作画の解説	26	comicoネーム作業(グループ)
	2	各種ツール解説と原稿の印刷・スキャン方法	27	comicoネーム作業(グループ)
	3	各種ツール解説と実技	28	
	4	各種ツール解説と実技	29	
	5	各種ツール解説と実技	30	
	6	各種ツール解説と実技	31	
	7	各種ツール解説と実技	32	
	8	各種ツール解説と実技	33	
	9	各種ツール解説と実技	34	
	10	各種ツール解説と実技	35	
	11	各種ツール解説と実技	36	
	12	実技テスト	37	
	13	前期振り返りテスト	38	
	14	各種ツール解説と実技	39	
	15	各種ツール解説と実技	40	
	16	各種ツール解説と実技	41	
	17	2Pマンガ制作	42	
	18	2Pマンガ制作	43	
	19	2Pマンガ制作	44	
	20	2Pマンガ制作	45	
	21	2Pマンガ制作	46	
	22	2Pマンガ制作	47	
	23	comicoネーム作業(グループ)	48	
	24	comicoネーム作業(グループ)	49	
	25	comicoネーム作業(グループ)	50	

授業の方法	課題テキストに従って操作を憶え、専門書を参考にして理解を深める。
テキスト/参考文献	オリジナル教材、『CLIPSTUDIOPAINT EX 公式ガイドブック』
評価の方法や基準	作品完成度（40%）出席状況（10%）実技テスト結果（50%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	地元タウン情報誌で4コママンガを1年間掲載。
実務経験の活かし方	フルデジタル、アナログとデジタルとの混合の操作を学生に伝える。
履修上の注意事項	課題、専門書、プロの作品を参考にしての予習復習。USBメモリを持参すること。

令和 5年度 シラバス

授業科目	すらら	単位／時間	25h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	安岡 貴広
授業の目的・テーマ	AI×アダプティブラーニング「すらら」を利用し、英・数・国の基礎学力を上げる。		
授業の到達目標	就職試験（SPIや一般常識のテスト）が解けるようになる。		

授業の計画				
	1	操作説明・実力テスト（算数・数学）	26	
	2	実力テスト（国語）	27	
	3	すらら（国語　練習問題）	28	
	4	すらら（国語　練習問題）	29	
	5	すらら（国語　練習問題）	30	
	6	すらら（国語　練習問題）	31	
	7	すらら（国語　練習問題）	32	
	8	すらら（国語　練習問題）	33	
	9	すらら（国語　練習問題）	34	
	10	すらら（国語　練習問題）	35	
	11	すらら（国語　練習問題）	36	
	12	すらら（国語　練習問題）	37	
	13	すらら（算数・数学　練習問題）	38	
	14	すらら（算数・数学　練習問題）	39	
	15	すらら（算数・数学　練習問題）	40	
	16	すらら（算数・数学　練習問題）	41	
	17	すらら（算数・数学　練習問題）	42	
	18	すらら（算数・数学　練習問題）	43	
	19	すらら（算数・数学　練習問題）	44	
	20	すらら（算数・数学　練習問題）	45	
	21	すらら（算数・数学　練習問題）	46	
	22	すらら（算数・数学　練習問題）	47	
	23	すらら総復習	48	
	24	実力テスト（国語）	49	
	25	実力テスト（国語）	50	

授業の方法	AI×アダプティブラーニング「すらら」を利用。PCにて操作を行う。
テキスト/参考文献	特になし
評価の方法や基準	出席状況（50%）テスト結果（50%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	学習が遅れている場合は自宅でも受講すること

令和 5 年度 シラバス

授業科目	マンガ演習	時間	156h
開講学科等	マンガ学科　1　年	担当教員	岩神　義宏
授業の目的・テーマ	キャラクターを起たせるために必要な表情やポーズ、演出などを実習を通して学ぶ。キャラクター設定を考えるときに必要なポイントを実習を通して理解する。		
授業の到達目標	色々なキャラクターを創造し描くことができる。構図に合わせて色々な角度でキャラクターを描くことができる。読者に感情移入してもらいやすいキャラクターの創造。		

授業の計画				
	1	道具の使い方	26	修了制作
	2	バストアップ	27	修了制作
	3	下描き	28	修了制作
	4	下描き	29	修了制作
	5	ペン入れ	30	修了制作
	6	ペン入れ	31	修了制作
	7	提出	32	修了制作
	8	頭身、全身ポーズ	33	修了制作
	9	下描き	34	修了制作
	10	下描き	35	修了制作
	11	ペン入れ	36	修了制作
	12	ペン入れ	37	修了制作
	13	提出	38	
	14	艶ベタ	39	
	15	艶ベタ	40	
	16	陰影処理（トーン）	41	
	17	陰影処理（トーン）	42	
	18	陰影処理（トーン）	43	
	19	漫画家ｱｼｽﾀﾝﾄ検定3級対策	44	
	20	漫画家ｱｼｽﾀﾝﾄ検定3級対策	45	
	21	漫画家ｱｼｽﾀﾝﾄ検定3級対策	46	
	22	小物描画	47	
	23	小物描画	48	
	24	小物描画	49	
	25	修了制作	50	

授業の方法	演習
テキスト/参考文献	オリジナルテキスト等
評価の方法や基準	独創性（50%）・作画技術（50%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	漫画家
実務経験の活かし方	実務での経験を学生個々の力量に合わせて指導していく
履修上の注意事項	プロの作品研究・頭身やポーズの研究

令和 5年度 シラバス

授業科目	背景図法1	単位／時間	132h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	窪内 章悟
授業の目的・テーマ	主に自然風景の基本的な作画技法を身に付けストーリー作品に活かす		
授業の到達目標	自然風景の作画技法を身につける		

授業の計画				
	1	木のいろいろトレース	26	
	2	木のいろいろ模写	27	
	3	〃	28	
	4	**風景模写分割法**	29	
	5	〃	30	
	6	〃	31	
	7	煙の描き方いろいろ	32	
	8	〃	33	
	9	〃	34	
	10	朝日、夕日の描き方	35	
	11	〃	36	
	12	〃	37	
	13	四コマ背景	38	
	14	〃	39	
	15	〃	40	
	16	〃	41	
	17	**自然風景模写**	42	
	18	〃	43	
	19	〃	44	
	20	**自然風景模写**	45	
	21	〃	46	
	22	〃	47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	実習
テキスト/参考文献	オリジナルテキスト、背景カタログ
評価の方法や基準	作画技術（90%）出席（10%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	プロ漫画家
実務経験の活かし方	プロ漫画家として培った背景技術を授業に活かします
履修上の注意事項	

令和 5年度 シラバス

授業科目	デジタルイラスト基礎	単位／時間	92ｈ
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	関　和也
授業の目的・テーマ	クリップスタジオでデジタルイラストの基礎的な知識と操作を身に付ける。		
授業の到達目標	数種類の塗り方でイラストの制作ができる。		

授業の計画				
	1	デッサン①	26	
	2	デッサン②	27	
	3	デッサン③	28	
	4	デッサン④	29	
	5	デフォルメ	30	
	6	デフォルメ	31	
	7	光源と陰影	32	
	8	光源と陰影	33	
	9	色彩、配色	34	
	10	色彩、配色	35	
	11	前期総括	36	
	12	ライティング	37	
	13	ライティング	38	
	14	ライティング	39	
	15	構図、レイアウト	40	
	16	構図、レイアウト	41	
	17	構図、レイアウト	42	
	18	オリジナルイラスト制作	43	
	19	オリジナルイラスト制作	44	
	20	オリジナルイラスト制作	45	
	21	オリジナルイラスト制作	46	
	22	オリジナルイラスト制作	47	
	23	オリジナルイラスト制作	48	
	24	後期総括	49	
	25		50	

授業の方法	課題テキストに従って操作を憶え、プロの作品を参考にして理解を深める。
テキスト/参考文献	資料集等
評価の方法や基準	作品完成度（90%）　出席状況（10%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	イラストレーター
実務経験の活かし方	プロの現場で培った知識、技術をデジタル作画を通じて学生に継承する。
履修上の注意事項	課題、プロの作品を参考にしての予習復習。USBメモリを持参すること。

令和 5年度 シラバス

授業科目	デジタルペイント基礎	単位／時間	46ｈ
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	大﨑 七未
授業の目的・テーマ	クリスタでの様々なキャラクターの塗り方を覚え、対応できるようにする。		
授業の到達目標	クリスタのツールを覚え、様々なキャラクターの塗り方を覚える(アニメ塗り、ブラシ塗り、厚塗り、水彩塗り等)		

授業の計画				
	1	自己紹介イラストを描いてみる。(＋簡単な面談)	26	
	2	ソフトの機能を知る(クリスタのツールについて)	27	
	3	ソフトの機能を知る(レイヤーの描画モードについて)	28	
	4	キャラへの光／光源と陰影(環境と雰囲気)エフェクト	29	
	5	デジタル機能を活用	30	
	6	様々なキャラクターの塗り方	31	
	7	①アニメ塗りをしてみよう(次回提出可)	32	
	8	1作品自分の絵柄で線画から描いてみよう(前期課題)	33	
	9	前回の線画を塗ってみる	34	
	10	前回の続き	35	
	11	前回の続き(7/13㈭作品提出〆切)6/29㈭	36	
	12	②ブラシ塗りをしてみよう(次回提出可)	37	
	13	③ブラシ＋厚塗りをしてみよう(次回提出可)	38	
	14	④水彩塗りをやってみよう(次回提出可)	39	
	15	⑤水彩＋厚塗りをやってみよう(次回提出可)	40	
	16	⑥ギャルゲ(ソシャゲ)塗りをやってみよう(次回提出可)	41	
	17	⑦線画のない厚塗りをやってみよう	42	
	18	⑦線画のない厚塗りをやってみよう(前回続き)	43	
	19	今までのことを活かして1作品描いてみよう(後期課題)	44	
	20	前回の線画を塗ってみる(作品作り)	45	
	21	作品作り	46	
	22	作品作り	47	
	23	作品作り(12/15㈮作品提出〆切)11/30㈭	48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	市販のテキスト教材と自作の課題を使用
テキスト/参考文献	キャラ塗り上達術決定版／CLIP STUDIO PAINTの「良ワザ」辞典第3版[PRO／EX対応]／色塗りチュートリアル立体感のあるキャラを描こう／きらめく瞳の描き方
評価の方法や基準	授業態度（10%）　技術習得度（50%）　課題提出率（40%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	在学中KADOKAWAさんにて1年半程連載。その後四万十市漫画倶楽部にてデジタルイラスト講師と市内の小学校にて小学生に漫画やイラストの描き方を指導
実務経験の活かし方	連載中に学んだイラストの塗り方や、その後そのことを活かして指導した経験をそのまま活かしたい。また、現場で通用する人材を育てれるようにする
履修上の注意事項	特になし。

令和 5年度 シラバス

授業科目	ドローイング	単位／時間	46h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	川﨑 敬子
授業の目的・テーマ	クロッキー、デッサン、イラスト制作		
授業の到達目標	短時間でモノの形がとれる、時間内に完成させる		

授業の計画				
	1	自己紹介・道具説明・はがきサイズイラスト	26	
	2	クロッキー・デッサン球体	27	
	3	クロッキー・デッサン立方体	28	
	4	クロッキー・デッサン直方体	29	
	5	クロッキー・デッサン紙コップ	30	
	6	クロッキー・デッサン手	31	
	7	クロッキー・デッサン手	32	
	8	クロッキー・デッサン人物	33	
	9	クロッキー・デッサン人物	34	
	10	クロッキー・デッサン人物	35	
	11	人物似顔絵	36	
	12	クロッキー・色鉛筆	37	
	13	クロッキー・画材研究	38	
	14	クロッキー・画材研究	39	
	15	クロッキー・本の表紙イラスト	40	
	16	クロッキー・本の表紙イラスト	41	
	17	クロッキー・本の表紙イラスト	42	
	18	クロッキー・本の表紙イラスト	43	
	19	屋外スケッチ	44	
	20	クロッキー・スケッチを元にイラスト	45	
	21	クロッキー・スケッチを元にイラスト	46	
	22	クロッキー・スケッチを元にイラスト	47	
	23	クロッキー・スケッチを元にイラスト	48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	クロッキー・各机で作業
テキスト/参考文献	オリジナルテキスト等
評価の方法や基準	課題（70%）、授業態度（30%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	高知市広報紙のイラスト制作30年等
実務経験の活かし方	社会性と、デッサンからのイラスト制作
履修上の注意事項	学生が交代でクロッキーモデルを務める

令和 5年度 シラバス

授業科目	色彩演習	単位／時間	63h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	山﨑 道
授業の目的・テーマ	色彩に関する基本的な理論や体系的な知識を身につけ、カラーカード・絵具等（カラー画材）を使用する実習を行い、色彩の基本的な事柄を習得する。		
授業の到達目標	色の特性を理解して目的に合った「生かして使う・正しく使う」ことを展開する。 aft色彩検定3級を取得する。aft色彩検定＝2023.11.12（日）		

授業の計画				
	1	色のはたらき・光と色・色の分類	26	
	2	色の表示：PCCS色相①	27	
	3	色の表示：PCCS色相②	28	
	4	PCCSカラーカード資料制作　トーン表	29	
	5	色の表示：PCCSトーン	30	
	6	色彩調和①　テキスト：カラーカード演習	31	
	7	色彩調和②　テキスト：カラーカード演習	32	
	8	色彩調和③　テキスト：カラーカード演習	33	
	9	配色イメージ	34	
	10	前期復習｜学期末試験　前期：ファイリングチェック	35	
	11	aft色彩検定対策①　色の表示：PCCS	36	
	12	aft色彩検定対策②　色彩調和	37	
	13	aft色彩検定対策③　色彩心理	38	
	14	aft色彩検定対策④　配色イメージ	39	
	15	aft色彩検定対策⑤　色のはたらき　慣用色名	40	
	16	aft色彩検定対策⑥　光と色	41	
	17	aft色彩検定対策⑦　ファッション・インテリア	42	
	18	aft色彩検定対策⑧　総合復習｜色彩検定11/12	43	
	19	カラーイメージ①	44	
	20	カラーイメージ②	45	
	21	カラーイメージ③　後期；ファイリングチェック	46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	講義・実習
テキスト/参考文献	aft色彩検定公式テキスト3級編/過去問題集2022年度全般・配色カード199a
評価の方法や基準	前期：出席率(20%)・授業態度(20%)・実習課題(40%)・学期末試験(20%) 後期：出席率(20%)・授業態度(20%)・実習課題(30%)・aft色彩検定3級資格取得(30%)
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	建築設計事務所カラーコーディネート担当 パブリックアート設置(高知医療センター) アーティスト活動（個展・グループ展・高知新聞カット連載　など）
実務経験の活かし方	色彩を通して展開してきた内容を現在の社会状況を感じながら展開していく。
履修上の注意事項	色彩は、生活のすべてにわたって大切な関わりを持っているので、日頃から身の回りのもの・ことに興味を持ち、表現力を身につける。資料・実習を保管すること。

令和 5年度 シラバス

授業科目	ビジネスPC	単位／時間	46h
開講学科等	マンガ学科　１年	担当教員	吉井 多絵
授業の目的・テーマ	ビジネスの場で求められるWord、Excel、PowerPointの操作、ビジネスメールについて学ぶ。 パソコンの便利な使い方とともに基本的なビジネスマナーについても学ぶ。		
授業の到達目標	ビジネスの場でパソコンをツールとして使いこなせるようになる。		

授業の計画				
	1	ガイダンス	26	【Excel】関数②、グラフ機能①
	2	PC基礎知識、基本操作	27	【Excel】グラフ機能②
	3	【Windows】効率的な文字入力	28	【Excel】グラフ機能②
	4	【Windows】便利な機能	29	【Excel】データベース機能
	5	【ビジネスメール】メール確認	30	【Excel】データベース機能
	6	【ビジネスメール】マナーとルール	31	【Excel】複数シートの操作、印刷
	7	【ビジネスメール】初級	32	【Excel】複数シートの操作、印刷
	8	【ビジネスメール】初級	33	【PowerPoint】基本操作
	9	【ビジネスメール】応用	34	【PP】プレゼンテーション作成
	10	【ビジネスメール】応用	35	【PP】プレゼンテーション作成
	11	【Word】ビジネス文書作成	36	【PowerPoint】スライドショー機能
	12	【Word】ビジネス文書作成	37	【差込印刷】DMレターと宛名ラベル
	13	【Word】ビジネス文書作成　-線と表-	38	【差込印刷】DMレターと宛名ラベル
	14	【Word】ビジネス文書作成　-線と表-	39	【差込印刷】年賀状、DM用はがき
	15	【Word】PDF変換とメール添付	40	【差込印刷】年賀状、DM用はがき
	16	【Word】PDF変換とメール添付	41	復習と課題【Word編】
	17	【Word】画像加工とパンフレット作成①	42	復習と課題【Word編】
	18	【Word】画像加工とパンフレット作成①	43	復習と課題【Excel編】
	19	【Word】画像加工とパンフレット作成②	44	復習と課題【Excel編】
	20	【Word】画像加工とパンフレット作成②	45	総まとめ
	21	【Excel】基本操作	46	総まとめ
	22	【Excel】基本操作	47	
	23	【Excel】数式、関数①、表作成	48	
	24	【Excel】数式、関数①、表作成	49	
	25	【Excel】関数②、グラフ機能①	50	

授業の方法	パソコンを使用した実習
テキスト/参考文献	よくわかるWord2019、よくわかるExcel2019（FOM出版）
評価の方法や基準	出席（40%）授業態度（10%）提出物（50%）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	パソコン教室、職業訓練校、専門学校、一般企業、官公庁、医療機関等にてパソコン講師。
実務経験の活かし方	様々な業種や多分野での講師経験を活かし、実社会で求められるスキルをレクチャーします。
履修上の注意事項	データ保存用USB、筆記用具、授業用メールアドレス

令和 5年度 シラバス

授業科目	一般常識	単位／時間	24 h
開講学科等	マンガ学科 1年	担当教員	宮上 知史
授業の目的・テーマ	各科で必要とされる基本的な国語、数学、現代社会についてそれぞれの重要な項目について再確認をし、問題演習等を通じて就職試験にも備える。国語、数学、現代社会について基本的な事項について理解する。		
授業の到達目標	国語、数学、現代社会について基本的な事項について理解する。小テストを適宜実施して各自の課題を発見し解決できるようにする。		

授業の計画				
	1	現代社会：政治	26	
	2	現代社会：政治	27	
	3	現代社会：政治	28	
	4	現代社会：経済	29	
	5	現代社会：経済	30	
	6	現代社会：時事問題	31	
	7	国語：漢字、語句	32	
	8	国語：同意語、対義語、四字熟語	33	
	9	国語：ことわざ、慣用句、故事成語	34	
	10	国語：ことわざ、慣用句、故事成語	35	
	11	期末試験	36	
	12	期末試験解答解説	37	
	13	日本史	38	
	14	日本史	39	
	15	日本史	40	
	16	日本地理	41	
	17	日本地理	42	
	18	世界地理	43	
	19	国語：漢字、同意語、対義語	44	
	20	国語：四字熟語、ことわざ、故事成語	45	
	21	数学：文章題	46	
	22	数学：文章題	47	
	23	数学：文章題	48	
	24	期末試験	49	
	25		50	

授業の方法	テキストを使用して講義していくが、適宜、プリントも用いる。
テキスト/参考文献	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集
評価の方法や基準	出席10%、提出物30%、期末試験60%
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	進学・学習塾において20年以上の指導実績があります。
実務経験の活かし方	経験を生かし苦手とする学生にもわかり易い授業をしたい。
履修上の注意事項	一般常識を復習し就職試験に備える